

ピーチ ピット

本市出身！漫画家ユニット PEACH-PIT 25周年

特別展の見どころ

本展では、デビュー当時のラフや線画、手描き原稿、カラー原画など、PEACH-PITのお二人のこれまでの創作の軌跡をたどる上で貴重な資料を紹介します。『ローゼンメイデン』や『しゅごキャラ!』をはじめとした数々の名作が一堂に会し、他の巡回展会場でも人気だった名シーンの原画が数多く展示されます。繊細で美しいビジュアルとかわいらしさの奥に潜む重厚な物語性の魅力をぜひ感じ取ってください。

PEACH-PIT先生に聞いた原画の見どころ

紙原稿ならではの質感

現在はデジタルで描くのが主流になっていて、私たちもう紙に描いてはいないので見慣れない方には紙にインクで描いた原稿そのものが新鮮で感動すると聞きました。

枠外の書き込み

枠の外は印刷されないで、そこにメモやたし書き、試し描きをしています。本来絶対見られないものなので注目してみるのも面白いと思います。

アシスタントへの指示

スクリーントーンという陰影や模様を表現する画材があって、その指定を印刷には出ない水色や黄色のペンで書きこんで、アシスタントさんにやってもらっていたのでそのあたりも見るができます。



▲『しゅごキャラ! ジュエルジョーカー』



▲『ZOMBIE-LOAN』



▲『ローゼンメイデン』

▲『しゅごキャラ!』
日奈森あむ

PEACH-PIT History

2000

市内小学校で
出会う

ゲームの
コミカライズ作品
『プリズムパレット』の連載で
漫画家デビュー



▲『ZOMBIE-LOAN』
(一迅社)

『ZOMBIE-LOAN』アニメ化

あらすじ

紀多みちるは、事故から奇跡の生還を果たした2人の同級生、赤月知佳と橘思徒の首に奇妙な輪を見つける。それは死を予兆する輪…。輪を見る能力を持ったみちるは、彼らの命を救えないかと近付くが…?

2007

▶『ZOMBIE-LOAN』
橘思徒

2002

『Rozen Maiden』連載開始

あらすじ

ひきこもりの中学生・桜田ジュンの元に届けられた少女人形・真紅は生きていた。真紅と契約しマスターとなったジュンは、“至高の少女”を目指す“アリスゲーム”に巻き込まれていく…!



▶『Rozen Maiden』
(集英社)

2008

『しゅごキャラ!』 講談社漫画賞児童部門受賞

あらすじ

クールと評判の日奈森あむは、本当は口下手で素直になれない小学生。「なりたい自分に生まれかわりたい」と祈った翌朝に現れたのは、あむの「しゅごキャラ」だという3人の小さな女の子のことで…。



▲『しゅごキャラ!』
(講談社)

特別展

市川から生まれた物語、その原点へ。

25年にわたる漫画家生活のほとんどを過ごした市川の地で、その歩みを展示とともに振り返ります。

今回はお二人へのインタビューも交えて、その魅力をたっぷりお伝えします。

問 320-3334文学ミュージアム

Interview

—この特別展の国内最終の地に本市を選んだのは先生方のご希望があったと伺っています。

そうですね。2人とも市川市出身なので、漫画家になって何年かたったあたりから「いつか市川で何かやりたい」ということはよく話していました。今回特別展の企画が上がった時も早い段階から市川市でできないかなとは考えていました。

—お二人は小学生の頃に会って以来のご関係ということで、他にも市内に思い出の場所などがありますか？

鬼高あたりの他にも市川と本八幡の駅周辺は打ち合わせやアイデア出しをした喫茶店とか、学生の頃によく行っていたご飯屋さんとかいろいろあります。今回、私たちの思い出の地を地図に起こして展示することになったので「ここにも行っただんだ」と見てほしいですね。これは文学ミュージアムでしか見られません。



▲『Rozen Maiden』真紅

▶『二科てすらは推理しない』
二科てすら

出身の市川市で
特別展を開催

2026

2017

『二科てすらは推理しない』
連載開始

あらすじ

二科てすと名乗る女子高生に痴漢の疑いを晴らしてもらった百地俊太は、彼女とともに日常に潜む謎に挑むことに。正体不明の女子高生とフツのサラリーマンの「推理しない」新感覚ミステリー。



▲『二科てすらは推理しない』(講談社)

作中には
市川市民には
おなじみの
あの風景が…！？

PEACH-PITは千道万里とえばら澄子からなる2人組の女性漫画家ユニット。ともに市川市出身。青年向け・少年向け・少女向けと幅広いジャンルで活躍している。現在は自身最大のヒット作『しゅごキャラ!』の14年ぶりの続編となる『しゅごキャラ! ジュエルジョーカー』を連載中。



PEACH-PIT

—市内でもとりわけ「メディアパーク(文学ミュージアム)」での開催も先生方のご希望が反映されていますか？

仕事場が近くにあった時期があって、ニッケコルトンプラザや調べ物をしに(メディアパーク内の)中央図書館によく行っていました。今でも内装の雰囲気とかをよく覚えています。文学ミュージアムは展示がすてきだったので、ここでできたらいいねとも話していました。建物ができた時のこともよく覚えているんですけど、できた時は大騒ぎになりました。本当に昔からの思い出の場所ですね。

—最後に広報いちかわを読んでいる方へメッセージをお願いします。

今回大好きな市川で特別展を開催できるということで、1つの夢が叶えられてすごくうれしいです。私たちがどんな作家なのかなって興味を持った方にも、ぜひ特別展に足を運んでいただきたいです。これからも漫画や、文学などの文化芸術がもっと市川から出ていって活発になるといいなと思っています。

令和8年度文学ミュージアム企画展 【PEACH-PIT25周年特別展】

日 10月17日(土)～11月29日(日)

休館日:10月19日・26日・30日、11月2日・9日・16日・24日・27日
午前10時～午後7時30分(土・日曜日、祝日は午後6時、入館は閉館の30分前まで)

¥ 一般500円、65歳以上400円、高校生・大学生250円、中学生以下無料

場 文学ミュージアム

協力:PEACH-PIT25周年特別展実行委員会

文学ミュージアム

住所:鬼高1-1-4 メディアパーク市川2階

